



安全ニュース



公益社団法人 綾瀬市シルバー人材センター 安全・適正就業委員会 26-08号

全国シルバー人材センターの重篤事故 2 件、死亡事故 1 件！

就業中、就業途上の事故が各 1 件で、就業中は死亡事故、就業途上は 6 ヶ月以上の入院となっています。就業中の重篤事故の 1 件は今回も「植木・樹木の剪定等」における「墜落・転落」による事故で、保護帽・墜落制止用器具（安全帯）ともに着用されていませんでした。転落したところはコンクリートの道路で頭部外傷により事故の翌日に亡くなられました。何度も申し上げていますが、「頭を守る」ことは「命を守る」ことに繋がります。保護帽は顎紐をしっかりと固定し、必ず着用するようにしてください。また、植木剪定作業はできるだけ地上作業で行い、脚立を使用する作業は、安定した場所に設置し、常時保護帽・安全帯を使用してください。なお、事故が発生してしまった際に迅速な対応が取れるよう、屋外・屋内問わず会員が災害等に遭った場合に発見されにくい就業場所においては、複数人で作業を行い、お互いが視認できる位置で作業をするようにしてください。「このくらい」「もう少しだから」「今まで何ごとにもなかったから」、この 3 つの「禁句」を使ってしまういませんか。安全就業基準や交通ルールの遵守はもちろんのこと、予測される危険を甘く見ず、安全に対しては自分自身に厳しく向き合ってください。

【全国シルバーからのトピックス】

蜂刺されに気を付けてください！

★ 令和 7 年度には、「蜂・犬・蛇等に刺され、噛まれた」事故が 1,130 件発生しており、年々増加しています。また、近年は蜂刺されによる死亡事故も発生しており、決して軽視できない災害です。蜂刺されでは、体質によってはアナフィラキシーショックを起こし、短時間で命に関わる場合があります。

＜命を守るための合言葉＞

- 「なんとなくだるい」は救急車を呼ぶサイン
- 「少し休めば大丈夫」は最も危険な自己判断
- 「本人が大丈夫」と言っても、周りが止める勇気を

★ 蜂刺されによる死亡事故の多くは、初期症状を軽く考え、作業を続けたことが重症化につながっています。本人も仲間も「なんとなく様子がおかしい」という小さな異変を見逃さず「命を最優先」に行動してください。